

たんぽぽニュース No.49

2019年12月2日発行

たんぽぽの職員が発信するニュース、12月は看護師が担当します。

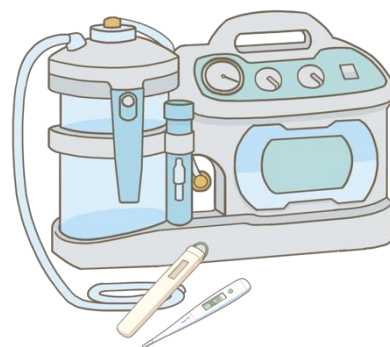
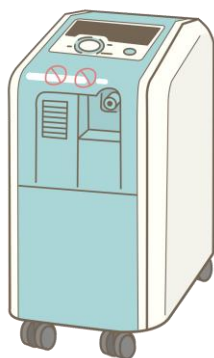
たんぽぽには、専任看護師2名おり交代で対応しています。

施設内には、在宅酸素（濃縮器装置）、吸引器があります。

医療的な対応が必要な胃ろう（経管栄養）、人工肛門（ストーマ管理）への対応もしています。

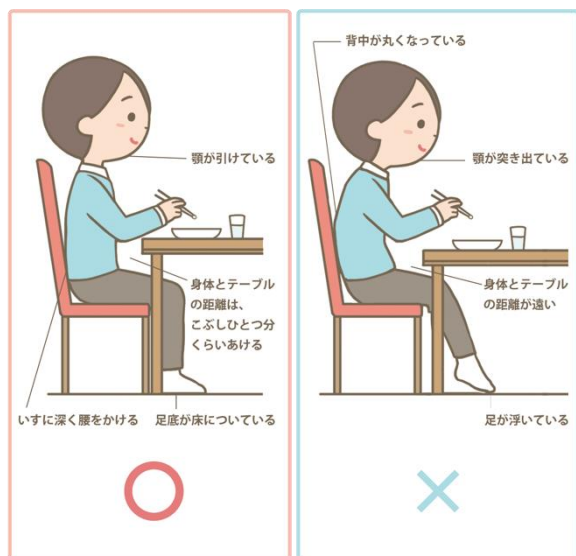
様々な疾病で外に出るのが大変な方、在宅で治療を必要とされている方など、医療と連携が必要な方でも安心して過ごして頂けます。

静養室もあり、ベッド2床、畳で休むこともできます。また簡易ベッドも用意しています。



1日の始まりは、利用者の方々の体温、血圧、脈拍などのバイタル測定、体調をお聞きしていきます。

自宅で入浴が困難な方も身体の変化に合わせて、午前を中心に入浴をして頂いています。全身観察、必要な方へのお薬の塗布、爪切りをしています。



食事中は、利用者の方の食べる姿勢や

食べ方、食欲あるなしを観察しながら一緒に食事を取ります。昼食後は、服薬、点眼などの管理と介助を行っています。

また利用者さんの皆さんには、口腔ケアをお勧めしています。お口の中には、食物残渣も多いので、うがい、歯磨きは重要です。

専任の看護師がいますので、医療処置が必要な方、病状が進んでも安心して1日を過ごす事ができます。



MV介護の広場

ぜひデイサービスでみんなと一緒に話をしたり、無理なく身体を動かしてみませんか。

季節性インフルエンザ が流行りはじめるこの時期、今回「感染症」をテーマに、インフルエンザとノロウイルスについてお伝えします。

インフルエンザとはどんな病気ですか？

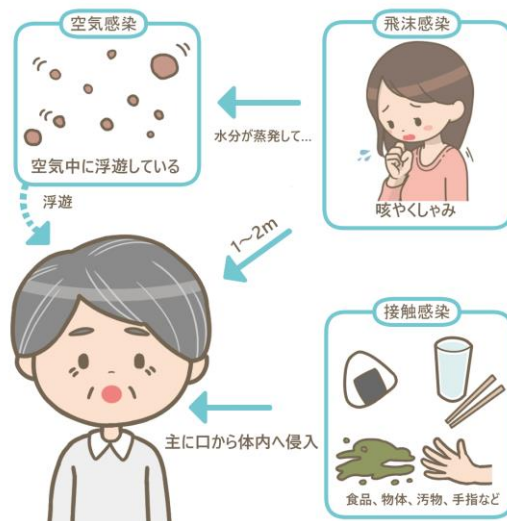
インフルエンザは、インフルエンザウィルスを病原体とする急性の呼吸器感染症で、毎年世界中で流行が見られます。日本での流行は、例年11月頃から12月上旬にかけ始まり、1月下旬から2月上旬にピークを迎え3月頃まで続きます。

予防対策、感染対策は？

予防接種を受ける事が有効です。予防接種を受けることで、発生率、重症化率の低減になります。

接種後、抗体が出来るまで、約2週間かかり効果は5ヶ月間持続しますので流行前早めに摂取することをお勧めします。

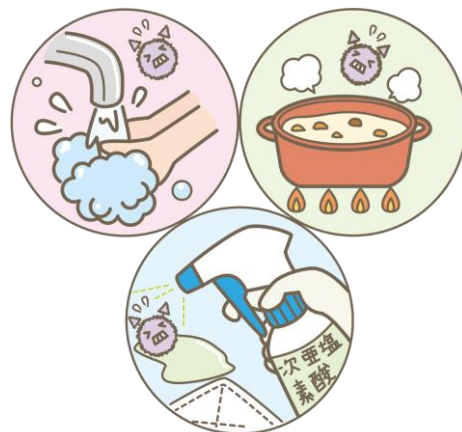
感染症対策は、飛沫感染対策として、咳エチケット（マスクを着用）。接触感染対策として、うがい手洗いの徹底が重要です。



ノロウイルスとはどんな病気ですか？

好発時期は、通常11月から3月の冬季ですが、近年初夏の感染事例も多数あり、冬季流行ウィルスだけでなく、通年感染のウィルスとなりつつあります。接触感染、飛沫感染の二面性を持ちます。

主な原因は、カキなど二枚貝の生食と食品取り扱い者の不十分な手洗いなどによる食品汚染に関わるものが多い。感染力は、きわめて強く少量のウィルスで感染し小腸粘膜で増殖します。



予防対策、感染対策は？

予防対策は、手洗いの徹底が重要です。感染対策は、嘔吐物は乾燥後も感染性を有するため、速やかにペーパータオルで覆い拡散を防止します。次に塩素系消毒を塗布し10~15分間十分浸した後、ビニール袋で包み廃棄します。吐物現場は、80%アルコールで清拭し十分な換気を行なってください。

